



## 2019年度（第55回）水工学に関する夏期研修会開催について

1. 主 催 — 土木学会（担当：海岸工学委員会，水工学委員会）
2. 後 援 — 土木学会中部支部
3. 期 日 — 2019年9月9日（月）～ 10日（火）の2日間（A，Bコース並行開催）
4. 場 所 — 名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）  
共通セッション：51号館5111号教室，Aコース：52号館5211号教室，Bコース：52号館5212教室  
（会場までのアクセスの紹介ホームページ：<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>）
  - ・JR東海 新幹線名古屋駅にて乗換，中央本線 鶴舞駅下車，名大病院口より徒歩約7分．
  - ・名古屋市交通局 地下鉄鶴舞線 鶴舞駅下車，4番出口より徒歩約10分．
5. 定 員 — Aコース 150名 Bコース 150名
6. 受講料 — 1コースにつき1名 一般（社会人） 16,000円  
学生・院生 10,000円  
\* いずれのコースも受講料に，講義集代（6,500円）が含まれています。
7. 申込方法 — 下記のいずれかの方法でお申込下さい
  - (1) 土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp> から
  - (2) FAX：学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」をご利用下さい。
8. 申込に関するお願い
  - ① 当日の受付は非常な混雑が予想されるため，参加費のお払いは事前に銀行振込または郵便振替にてお願いいたします。
  - ② 申込締切日前に定員に達している場合がございますので予めご了承ください。  
締切日以降の事前受付は致しませんが，定員に余裕があれば行事当日会場にて受付します。
  - ③ 申込み後，やむを得ずキャンセルをされる場合は，必ず開催日の5日前（土・日・祝祭日を含まず）までに研究事業課（水工学夏期研修会担当：03-3355-3559）へご連絡ください。ご連絡がない場合は，参加費を徴収させていただきますので予めご了承ください。  
\* 申込書到着後，10日前後にて折り返し「参加券」および「請求書類」をお送り致します。
9. 申込締切日—— 2019年8月30日（金）【必着】
10. 講義集の販売について  
テキストのみご希望の場合は，研修会終了後に出版事業課までお問合せください。  
注）研修会場でも販売いたします。 価格：A，Bコース共に 1冊 6,500円（税込）
11. プログラム等の最新情報  
水工学委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>  
海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>  
をご覧ください。

Aコース：河川・水文コース 「気候変動適応に向けた水工学・防災技術」

9月9日（月）

- |                 |  |                    |      |
|-----------------|--|--------------------|------|
| (0) 9:10～ 9:15  | 開会挨拶【共通セッション】                              | 名古屋大学・教授           | 水谷法美 |
| (1) 9:15～10:45  | 力学的ダウンスケーリングによる台風ハザードの気候変動影響評価【共通セッション】    | 京都大学・准教授           | 竹見哲也 |
| (2) 11:00～12:30 | スーパー伊勢湾台風来襲に備えた危機管理行動計画策定に向けた取り組み【共通セッション】 | 中部地方整備局河川部・河川情報管理官 | 松尾 修 |
| (3) 13:30～15:00 | 粒子フィルタを用いた実時間洪水予測手法                        | 京都大学・教授            | 立川康人 |
| (4) 15:15～16:45 | 都市浸水に関する解析法とその活用                           | 中部大学・教授            | 武田 誠 |

9月10日（火）

- |                 |                          |           |      |
|-----------------|--------------------------|-----------|------|
| (5) 9:15～10:40  | 水災害に備える市街地のあり方【共通セッション】  | 東京大学・教授   | 加藤孝明 |
| (6) 11:00～12:30 | 災害ごみの最新の知見とその対策【共通セッション】 | 名古屋大学・准教授 | 平山修久 |
| (7) 13:30～15:00 | 土砂・流木災害                  | 立命館大学・教授  | 里深好文 |
| (8) 15:15～16:45 | 2018年西日本豪雨による河川災害の概要と課題  | 岡山大学・教授   | 前野詩朗 |

Bコース：海岸・港湾コース 「伊勢湾台風60年：高潮・高波・沿岸防災の過去・現在そして将来」

9月9日（月）

- |                 |  |                                 |      |
|-----------------|--|---------------------------------|------|
| (0) 9:10～ 9:15  | 開会挨拶【共通セッション】                              | 名古屋大学・教授                        | 水谷法美 |
| (1) 9:15～10:45  | 力学的ダウンスケーリングによる台風ハザードの気候変動影響評価【共通セッション】    | 京都大学・准教授                        | 竹見哲也 |
| (2) 11:00～12:30 | スーパー伊勢湾台風来襲に備えた危機管理行動計画策定に向けた取り組み【共通セッション】 | 中部地方整備局河川部・河川情報管理官              | 松尾 修 |
| (3) 13:30～15:00 | 愛知県における高潮防災の取り組み                           | 愛知県建設局河川課・課長補佐                  | 益田 俊 |
| (4) 15:15～16:45 | 高波及びうねりによる越波災害と技術的対応                       | 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 | 平山克也 |

9月10日（火）

- |                 |                          |              |      |
|-----------------|--------------------------|--------------|------|
| (5) 9:15～10:40  | 水災害に備える市街地のあり方【共通セッション】  | 東京大学・教授      | 加藤孝明 |
| (6) 11:00～12:30 | 災害ごみの最新の知見とその対策【共通セッション】 | 名古屋大学・准教授    | 平山修久 |
| (7) 13:30～15:00 | 高潮数値モデルの開発と気候変動影響評価への適用  | 関西大学・准教授     | 安田誠宏 |
| (8) 15:15～16:45 | 伊勢湾台風とその後の防災             | 名古屋工業大学・名誉教授 | 喜岡 渉 |

12. 問 合 先—— 土木学会研究事業課・林（TEL：03-3355-3559）